



## リヒテンシュタイン公国

Principality of Liechtenstein

2006年7月現在



### 一般事情

- 1.面積 160平方キロメートル(小豆島にほぼ相当)
- 2.人口 34,294人(2003年12月)
- 3.首都 ファドーツ(人口約5千人)
- 4.民族 主としてゲルマン民族(外国人約34%)
- 5.言語 独語
- 6.宗教 カトリック約80%、プロテスタント約7%
- 8.通貨 スイスフラン  
為替レート 1スイスフラン=約100円(2007年8月現在)  
補助通貨単位 -
- 9.査証(ビザ) 査証免除取極(スイスに準ずる)
- 10.在留邦人数 13人(2005年10月現在) コンセント・タイプ
- 11.在日当該国人数 2人(1999年10月) ☺タイプ
- 12.電源 220V 50Hz
- 13.国際電話 国番号 41-75 国際通話コード 0
- 14.シガレット 小売価格 - US\$ (20本当り)  
税率 - %  
製造数量 - (百万本/年)  
シガレットメーカー **No Cigarette Manufacturers in this Country**

### 15.略史

ヨハン・アダム・アンドレアス侯が、1699年、シェレンベルク領(現在の低地部)を、ついで1712年、ファドーツ領(現在の高地部)をそれぞれ購入し、公国の基礎を固める。

年月	略史
1719年	神聖ローマ帝国カール6世が両領に対し自治権を付与、リヒテンシュタイン公国に昇格。
1852年	オーストリアと関税同盟締結。
1919年	オーストリアが第1次大戦に敗北、ハプスブルク帝国崩壊。リヒテンシュタイン、オーストリアとの関税同盟を解消。
1921年	憲法制定
1923年	スイスと関税同盟を締結、スイス・フランの導入。
1975年	OSCE(欧州安全保障協力機構)加盟
1990年	国際連合加盟
1991年	EFTA(欧州自由貿易連合)正式加盟
1995年	EEA(欧州経済地域)加盟、WTO加盟
2003年	憲法改正

16.在外大使館・領事館 なし

17.駐日大使館・領事館 なし

### 政治体制・内政

- 1.政体 立憲君主制
- 2.元首 ハンス・アダム2世(Hans Adam II)(第15代公爵)
- 3.議会 一院制、全25議席。議員の任期は4年。  
選挙区は、ウンターラント(低地地区、15議席)とオーバーラント(高地地区、10議席)。
- 4.政府 (1)首相 オットマー・ハスラー(進歩市民党、FBP)  
(2)外相 リタ・キーバー=ベック(進歩市民党、FBP)(女性)

### 5.内政

- (1)1989年11月、フランツ・ヨーゼフ2世の逝去に伴い、ハンス・アダム2世が即位。  
その後、2004年8月、ハンス・アダム2世はアロイス皇太子を摂政(国家元首代行)として全権を移譲。
- (2)政府・議会  
政府は、首相を含めて5名の閣僚によって構成される。閣僚の任期は4年。  
1938年から1997年まで、祖国連合(VU)及び進歩市民党(FBP)の連立政権が続いたが、1997年2月の議会選挙の結果、進歩市民党が議席を減らし、同4月から祖国同盟の単独政権が誕生。  
その後、2001年2月の議会選挙で進歩市民党が単独過半数を獲得、同4月から祖国同盟に代わって進歩市民党の単独政権が発足した。  
2005年3月の議会選挙(投票率86.5%)では、全25議席のうち、進歩市民党12議席、祖国連合10議席、自由リスト(FL)3議席となり、同4月に進歩市民党と祖国連合との間で連立政権が成立、現在に至る。次回議会選挙は2009年の予定。

【現在の政権(2005年4月に成立)】

- 首相(兼総務、財務、建設・公共事業) オットマー・ハスラー(FBP)
- 副首相(兼経済、司法、スポーツ) クラウス・チュチャー(VU)
- 外相(兼文化、家族・男女機会均等) リタ・キーバー=ベック(FBP)(女性)
- 内相(兼交通・通信、健康) マルティン・マイヤー(FBP)
- 教育相(兼社会、環境・土地利用・農業・林業) フーゴ・クァダラー(VU)

### (3)地方政治

11のゲマインデ(地方自治体)がある。最も人口が多いのはシャーン(約5700人)、最も少ないのはブランケン(約360人)。

## 外交・国防

### 1.非武装中立

1866年の普墺戦争を契機として非武装中立政策をとるに至り、今日まで同政策を維持している。

### 2.スイスとの特殊関係

リヒテンシュタイン公国の在外公館は在スイス大使館及び欧州評議会(ストラスブール)常駐代表等に限られ、他の多くについては、スイスがリヒテンシュタインの利益代表を務める。(1919年の合意に基づくもの。)

### 3.軍事力

軍は1868年に最終的に解消。その後は軍を有さず。

経済(単位 米ドル)出典:リヒテンシュタイン経済局。データはいずれも2003年。

### 1.GDP総額

4,205百万CHF

### 2.一人当たり国民所得

112,000CHF

### 3.失業率

2.20%

### 4.主要産業

精密機械、医療機器、国際金融、切手

### 5.貿易(2003年)

輸出 4,646百万CHF

\*輸出は約12.8%がスイス、約43.1%がEEA諸国。

### 6.通貨

スイス・フラン(CHF)(2005年7月現在、1スイスフラン = 約86円)

### 7.経常収支

歳入 1,077.4百万CHF

歳出 1,052.9百万CHF

### 8.労働分布

農林業:1.3%、製造業:45.0%、貿易・サービス業:53.7%

### 9.失業率

2.20%

なお、就労者の約46%は越境就労者(スイス約45%、オーストリア約52%)。

労働人口のうち、リヒテンシュタイン国籍は、全体の34.3%のみ。

## 二国間関係

### 1.政治関係

伝統的に友好的な関係。我が国との正式な外交関係樹立は1996年6月。

### 2.経済関係

対日貿易、直接投資については統計なし。

### 3.在留邦人数

13人(2005年10月現在)

### 4.在日リヒテンシュタイン人

2人(1999年10月)

### 5.最近の要人往来

#### (1)往

年月	要人名
1984年、1985年	徳仁親王殿下は英国御修学中、二度にわたりリヒテンシュタイン家の招待により御訪問。
1986年	大来左武郎顧問
1988年	紀宮殿下
1989年	礼宮殿下フランツ・ヨーゼフ2世の葬儀に参列
1996年3月	遠山文部省顧問(前文化庁長官)
1996年11月	緒方UNHCR高等弁務官(公式招待)

#### (2)来

年月	要人名
1986年	ハンス・アダム皇太子・同妃殿下
1989年	昭和天皇大喪の礼に両殿下参列
1990年	即位の礼にアロイス皇太子参列
1998年	長野五輪の際にノラ王女(IOC委員)

## 6.二国間条約・取極

我が国はスイスとの間の査証免除取極等をリヒテンシュタインとの間にも適用。